

施策評価(平成29年度)

1 基本項目

基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち
基本施策	1	とものつくる住みよい地域社会の実現
施策	13	共生社会
基本方針		
多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊重しあい、地域でともに生きる社会を目指します。		

2 事後評価結果

計画事業名	進捗状況	妥当性 (必要性)	効率性 (手法)	有効性 (成果)	今後の 方向性
男女共同参画の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
市民ボランティア活動および外国人市民への日本語指導などの支援	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
国際交流事業の推進	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続
多文化共生への理解を深める講座などの実施	計画どおり完了	A	A	A	現状のまま継続

3 施策評価結果

<p>施策13「共生社会」では、4事業について評価を実施した。</p> <p>進捗状況については、すべて「計画どおり完了」であり、滞りなく履行されている。</p> <p>各事業における妥当性(必要性)、効率性(手法)、有効性(成果)については、すべてA(適切なもの)と評価している。</p> <p>これらを踏まえた結果、施策13「共生社会」については、取組内容は順調に推移しており、今後の方向性については、すべての事業で引き続き、「現状のまま継続」していくこととする。</p>

1.基本項目		作成部署	企画総務部			企画政策課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 男女共同参画の推進		不明	年 継続	自治事務	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	13 共生社会	重点事業No.	1	

2.事業の概要

施策の基本方針	多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊敬しあい、地域でともに生きる社会を目指します。
事業内容	男女共同参画の考え方が市民や地域、企業などに浸透し、それぞれが主体的に取り組めるよう、啓発活動を行うとともに、「女性の活躍推進」や「あらゆる暴力の根絶・安心な暮らしの実現」などに関する事業に取り組みます。
根拠法令	男女共同参画社会基本法
条例	羽村市男女共同参画基本条例
要綱等	

3.実施計画

Plan(計画)	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	次期基本計画の策定	次期計画の推進	同左	同左
	意識啓発事業 3回	同左 3回	同左 3回	同左 3回
	女と男、ともに織りなすフォーラム (プレ・メイン各1回)	女と男、ともに織りなすフォーラム 1回	同左 1回	同左 1回
	男女共同参画研修会1回	同左 1回	同左 1回	同左 1回
	男女共同参画推進会議5回	同左 5回	同左 5回	同左 5回

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	288H	1人	192H	1人	192H	1人	192H
主事・主任職	1人	576H	1人	480H	1人	480H	1人	480H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	1,552	1,442	1,332	1,287
人件費(係長職)	1,433	956	956	956
人件費(主任・主事職)	1,958	1,632	1,632	1,632
総事業費(合計)	4,943	4,030	3,920	3,875
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	4,943	4,030	3,920	3,875
財源内訳(合計)	4,943	4,030	3,920	3,875

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無 <input checked="" type="checkbox"/>	有 <input type="checkbox"/>	指示事項・改善内容
------------------------------------------	-------------------------------	-----------

②活動実績

平成29年度は、第4次羽村市男女共同参画基本計画の初年度であり、新たな取組みとして、男女共同参画の講演会、男女共同参画ミニコラム記事の掲載を行った。
 そのほか、男女共同参画推進会議を5回開催し、市の取組みに対する意見をいただいたほか、毎年度取り組んでいる意識啓発事業(男女共同参画週間啓発事業・女性に対する暴力をなくす運動・啓発記事の作成)の実施や、男女共同参画研修会、女と男、ともに織りなすフォーラムを行い、男女共同参画意識の啓発に取り組んだ。
 さらに、女性の職場復帰や地域参画を推進するため、女性のチャレンジ・キャリアデザイン支援セミナーを行い、女性の活躍推進を促進するための機会充実に取り組んだ。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	1,442		1,442	1,075	74.5%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	192 H	1人	192 H
主事・主任職	1人	480 H	1人	480 H

④事業量(活動量)

<p>実施計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意識啓発事業 3回 ○女と男、ともに織りなすフォーラム 1回 ○男女共同参画研修会 1回 ○男女共同参画推進会議 5回 ○男女共同参画講演会 1回 ○女性のチャレンジ・キャリアデザイン支援セミナー 2回 	⇒	<p>今年度実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ○意識啓発事業(男女共同参画週間(6月)、女性に対する暴力をなくす運動(11月)、啓発記事の作成(Weaveはむら1回・ミニコラム5回)) ○女と男、ともに織りなすフォーラム 1回 ○男女共同参画研修会 1回 ○男女共同参画推進会議 5回 ○男女共同参画講演会 1回 ○女性のチャレンジ・キャリアデザイン支援セミナー 2回
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥当性(必要性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効率性(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有効性(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いに尊重しあい、地域とともに生きる社会の形成には、男女共同参画の視点が不可欠であり、各事業や啓発活動を通じて男女共同参画の考え方の周知をしてきており、今後も継続した取り組みが必要である。

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

研修会やフォーラムの参加者の満足度は高いが、参加者そのものが少ないことが課題であり、関連部署と連携しながら、実施内容や実施手法を見直すとともに、効果的な周知方法の再検討が必要。

【今後の取組方針】

男女共同参画社会の実現のためには、市民・事業者の意識を変えていく必要があることから、第4次羽村市男女共同参画基本計画に基づき引き続き啓発事業に取り組んでいく。
 また、研修会やセミナー、フォーラム等については、輝プロジェクトの視点をもとに、実施内容および実施手法を見直し、組織・施策横断的な効果的かつ充実した内容の事業を展開する。

平成29年度 【基本シート】

1.基本項目		作成部署		市民生活部		地域振興課	
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト	
00	市民ボランティア活動および外国人市民への日本語指導などの支援	不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	○	
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課							
基本目標	3 ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	13 共生社会	重点事業No.	2		

2.事業の概要

施策の基本方針	多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊敬しあい、地域でともに生きる社会を目指します。
事業内容	外国人市民を対象に、日本語指導や市民生活に必要なルール説明などを行う市民ボランティア活動や、東京2020大会を契機に来日する外国人観光客などに対する案内等のおもてなしを行う市民ボランティア活動を支援します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	市民ボランティアによる日本語指導団体の情報提供	同左	同左	同左
	日本語指導団体との連携	同左	同左	同左
		東京2020大会に向けた事業の検討	同左	東京2020大会に向けた事業の実施

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40 H	1人	40 H	1人	40 H	1人	40 H
主事・主任職	1人	80 H	1人	80 H	1人	80 H	1人	80 H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費				25
人件費(係長職)	199	199	199	199
人件費(主任・主事職)	272	272	272	272
総事業費(合計)	471	471	471	496
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	471	471	471	496
財源内訳(合計)	471	471	471	496

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の 出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

○外国籍市民支援団体の市民活動情報紙きずな(No.39号:9月15日発行)での紹介
 ○問合せに対する外国籍市民支援団体の紹介
 ○「日本語支援ボランティア入門講座(後援事業)」の実施(開催日3月3日、参加者5名)

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40 H	1人	40 H
主事・主任職	1人	80 H	1人	80 H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○市民ボランティアによる日本語指導団体の情報提供 ○日本語指導団体との連携		○市民ボランティアによる日本語指導団体の情報提供 ○日本語指導団体との連携

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

外国籍市民支援団体の紹介などを行うことで、外国籍市民の利用促進が図られ生活向上が図られた。また、外国籍市民支援団体と連携(後援)して講座を行うことで、多文化共生の礎が図られた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

現状のまま継続

【今後の取組方針】

現状のまま継続

平成29年度 【基本シート】

1.基本項目

事業名		作成部署		企画総務部			企画政策課
00 国際交流事業の推進		開始年度	不明	実施期間	継続	事業種別	自治事務(市独自)
			年			運営手法	直営
			年			プロジェクト	○
01			年				
02			年				
03			年				
04			年				
05			年				
関連課	東京オリンピック・パラリンピック準備室						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	13	共生社会	重点事業No.	3

2.事業の概要

施策の基本方針	多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊敬しあい、地域でともに生きる社会を目指します。
事業内容	東京2020大会に向けた取組みを契機に、海外の都市との交流や国際交流団体と連携した外国人との交流事業などの推進を図ります。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	国際交流団体等の発掘	同左	同左	同左
	国際交流に関する情報収集	同左	同左	同左
			国際交流に関する情報発信	同左
			国際交流の機会の創出	同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100H	1人	100H	1人	100H	1人	100H
主事・主任職	人	H	人	H	人	H	人	H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費				
人件費(係長職)	498	498	498	498
人件費(主任・主事職)				
総事業費(合計)	498	498	498	498
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	498	498	498	498
財源内訳(合計)	498	498	498	498

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、 円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、 円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do【実行】

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

西多摩8市町村による米国ホスタウン登録については、平成29年5月16日に東京都オリンピック・パラリンピック準備局に申請し、平成29年7月7日に継続審査の旨の公表がなされたが、その後、8市町村における校正・修正等を行い、平成31年3月23日に第7次申請を実施した。

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費				0	-

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	100 H	1人	100 H
主事・主任職	人	H	人	H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○国際交流団体等の発掘、国際交流に関する情報収集		○西多摩8市町村による米国ホスタウン申請の実施、国際交流に関する情報収集

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要)性) <input checked="" type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法)率) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input checked="" type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果)効) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

多様な価値観や文化を持った誰もがともに生きる社会の形成には、国際交流の促進が必要不可欠であり、東京2020大会を契機とした取組みが図られている事業である。

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

【今後の取組方針】

西多摩8市町村による米国ホスタウン登録に関する取組みを継続して支援していく。

1.基本項目		作成部署	市民生活部			地域振興課
事業名		開始年度	実施期間	事業種別	運営手法	プロジェクト
00 多文化共生への理解を深める講座などの実施		不明	年 継続	自治事務(市独自)	直営	○
01			年			
02			年			
03			年			
04			年			
05			年			
関連課						
基本目標	3	ふれあいと活力のあふれるまち	施策区分	13	共生社会	重点事業No. 5

2.事業の概要

施策の基本方針	多様な価値観や文化を持った市民だれもが、性別や国籍などに関わらず、お互いを尊敬しあい、地域でともに生きる社会を目指します。
事業内容	多文化共生の理解を促進するため、講座や交流事業、相談事業を実施します。
根拠法令	
条例	
要綱等	

3.実施計画

Plan【計画】	平成28年度(現況)	3か年計画		
		平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業内容 事業量等	世界の文化講座等(1回) 市民活動相談(相談件数69件: 平成29年1月30日現在)	同左(1回) 同左	同左(1回) 同左	同左(1回) 同左

4.投入指標(成果の達成、及び活動するために投入する資源【ヒト・モノ・カネ】)

①年間業務時間(人件費の目安) 【事務執行に要する人数と1人当たりの年間業務時間】

職層・職種別	平成28年度(現況)		平成29年度		平成30年度		平成31年度	
	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	40H	1人	40H	1人	40H
主事・主任職	1人	100H	1人	100H	1人	100H	1人	100H

②事業費

事業費の内訳(単位:千円)	平成28年度(現況)	平成29年度	平成30年度	平成31年度
事業費	15	15	15	15
人件費(係長職)	199	199	199	199
人件費(主任・主事職)	340	340	340	340
総事業費(合計)	554	554	554	554
国庫支出金				
都支出金				
受益者負担額				
その他特定財源				
一般会計繰入金				
起債				
一般財源(人件費含む)	554	554	554	554
財源内訳(合計)	554	554	554	554

③コスト計算

ア 市民 人における1人あたりのコストは、円
 イ 対象者 人における1人あたりのコストは、円
 ウ 成果(物) の出来高 のコストは 円
 ※ 対象者:

Do(実行)

5.実施結果

計画どおり完了 計画を見直し完了(次年度以降計画を見直す) 遅延 中断

①指示事項・改善

無	有	指示事項・改善内容
<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

②活動実績

○世界の文化講座の実施(開催日12月6日、参加者19人)
○市民活動相談の受付

③投入実績

決算の内訳(単位:千円)	予算額(当初)	補正・流用額	予算額(最終)	決算額	執行率
事業費	15		15	15	100.0%

年間業務時間(人件費の目安)	当初計画		実績	
	人数	概算時間	人数	概算時間
係長職	1人	40H	1人	40H
主事・主任職	1人	100H	1人	100H

④事業量(活動量)

実施計画	⇒	今年度実績
○世界の文化講座等 1回 ○市民活動相談		○世界の文化講座等 1回 ○市民活動相談

Check(評価)

6.事業の評価 S…より適切なもの A…適切なもの B…課題があり、今後、改善が必要なもの

項目	課長評価
妥(必要性) <input type="checkbox"/> 上位施策(基本目標・施策)を達成する為に必要な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 今の社会情勢に見合う事業である <input checked="" type="checkbox"/> 利用者・対象者のニーズ(需要)がある <input type="checkbox"/> その他 ()	A
効(手法) <input checked="" type="checkbox"/> 最少の人件費・事業費で事務が執行されている <input checked="" type="checkbox"/> 民間活力を活用している <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続きを簡略化・簡素化している <input type="checkbox"/> その他 ()	A
有(成果) <input type="checkbox"/> 計画の事業量に達しなかった <input checked="" type="checkbox"/> 計画の事業量に達した <input type="checkbox"/> 計画以上の事業量を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 事業の目標が達成された <input type="checkbox"/> 事業の効果が表れている <input type="checkbox"/> 施策の基本方針推進するうえで具体的な成果があった	A

7.「施策の基本方針」に対する本事業の評価

外国籍市民と市民が交流、協力する講座を実施することで、多文化共生への理解を深められた。また、市民活動団体の相談(外国籍市民支援団体紹介など)を受けることで、外国籍市民の生活向上が図られた。

Action(改善)

8.今後の方向性

現状のまま継続 レベルアップ 縮小 実施主体の見直し 休止・廃止 完了

【改善点】

現状のまま継続

【今後の取組方針】

現状のまま継続